

九州学生・ダンロップ2DAYS IN トム・ワトソンコース

同校対決制す

九州学生ゴルフ連盟の開幕戦「2013年度ダンロップ2DAYS九州学生ゴルフ選手権」が4月29日(月)、30日(火)の両日、宮崎県宮崎市山崎町浜山のフェニックスカントリークラブ・トム・ワトソンコース(6984ヤード、パー72)で開催された。1日目は晴天に恵まれたが、2日目は打って変わり時折嵐のような雨が降りしきる悪コンディションに各選手スコアメイクに苦しむ中、初日首位スタートの上島誠人(東海大)が通算153ストロークで並んだ富永大誠(東海大学)をプレーオフ1ホール目で下し2連覇を飾った。



慎重なプレーで光る  
上島(東海大3年)  
V2

連覇を飾った上島誠人(うへはた・なおと=写真上)の1番ティショット。初優勝を逃した富永大誠(左)

雨のPOに突入

通算153ストローク(9オーバー)で並んだ上島と富永のサドンデスによるプレーオフは10番495ヤード(パー5)で行われた。

1打目でフェアウェイセンターを捉えた上島に対し、ティーショットを左の林に打ち込んだ富永はこのコース特有の密集

した松林に囲まれるトラブルに見舞われ、2打目を出すだけとなり5オン1パットでボギー。一方リスクを犯さず2打目を確実に刻み、残り90ヤードをピン下5メートルに寄せてパーセーブした上島に軍配が上がった。

苦い教訓生かす

見事連覇を果たした上島は開口一番「最終ホールが怖かった」。それもそのはず前週行われた試合(熊日)では最終ホールを首位で迎えながら強振し、痛恨のOB2発で11を叩き自ら優勝を明け渡してしまったからだ。「普段はあまり考えないんですけど、あの事はさすがに堪えた」と猛省。最大の武器である飛距離を捨て「クラブを短く持つてあまり振りすぎないように心がけたから、ドライブは完璧だった」と初日2位に1打差の単独首位に立った。一転してショットが大きく暴れた2日目も最後まで焦ることはなかった。「初日首位の好スタートができてすごく気が楽になった。特に緊張する事もなく気楽にプレーできた」と二の舞を踏まずに安堵の表情を見せた。「連覇ができてとてもうれしい次は三連覇狙うしかないでしょう」と大きく胸を張った。

一打悔やむ

プレーオフで敗れたものの富永は、初日80の11位と出遅れたが2日目に今大会ベストスコアの73(2バーディー、3ボギー)で猛追し捕まえた。プレーオフでは「いい調子(本戦)だったがプレーオフは少し緊張してしまったり」と本来鍵となるドライブが露呈し終戦、高校1年の新人戦以来自身2度目のプレーオフに挑むも雪辱は果たせず「やっぱりあそこだった。もう少し伸ばせば」と得意げな表情を見せた。



3位の中村宏樹(長崎国際大2年)



4位の中山龍馬(日本経済大1年)



4位の大古場諒(日本経済大3年)

最終成績

Table with columns: 順位, 氏名, (学校名), 合計, 初日, 決勝. Lists the top 30 players and their scores.

2打差の3位は中村宏樹(長崎国際大2年)。初日1打差の2位に上島と富永のサドンデスによるプレーオフは10番495ヤード(パー5)で行われた。1打目でフェアウェイセンターを捉えた上島に対し、ティーショットを左の林に打ち込んだ富永はこのコース特有の密集した松林に...

7番(パー5)でイーグ... 2打差の3位は中村宏樹(長崎国際大2年)。初日1打差の2位に上島と富永のサドンデスによるプレーオフは10番495ヤード(パー5)で行われた。1打目でフェアウェイセンターを捉えた上島に対し、ティーショットを左の林に打ち込んだ富永はこのコース特有の密集した松林に...

ルを取るなど77で3位タイにつける好発進をみせた大古場だったが、2日目は得意のドライブが鳴りを潜め80とスコアを伸ばせなかった。それでも4位に踏み止まり「調子は悪くない、いつでも優勝を狙っていきたく」と意気込み「今年は日本アマに行く」と大舞台へ飛躍も誓った。学生初戦の中山は「新鮮な気持ちです。初日は緊張したが、

決勝は先輩のアドバースもあり、目標を70台に設定したことで気楽に回れた」と謝意。「目標は日本学生に出場することです」と力強く語った。そのほかの熊本県関係は、⑥岩永マント(東海大九州2年)158⑩尾田優貴(同1年)165⑭寺本拓矢(同3年)170⑰堀田光将(同4年)171

南阿蘇カントリークラブ 熊本県阿蘇郡南阿蘇村河陰5254 TEL.0967-67-2345 FAX.0967-67-2383. Includes membership rates and event information.